

【1学期終業式】仲間と共に限界突破③！

先程、中部ブロック大会、県総体の表彰伝達を行いました。各部とも暑い中、よく頑張りました。各会場において、ユニホーム姿で味方を鼓舞する声、励まし合う姿から、チームの団結を感じました。結果が思うようにいかなかったこともあったと思いますが、3年生は共に3年間頑張ってきた仲間やチームメイトとの絆を感じたと思います。これまで継続して努力してきたことは、これからの生活で必ず皆さんの力になります。

さて、いよいよ1学期の終業式となりました。皆さんにとってこの1学期はどうでしたか。よかったこと、夢中で努力したこと、反省点、今後の課題も含め、節目節目で、自分の行動を振り返り、見直すことは、自分自身を向上させるために大切です。ぜひ実践してください。

1学期には、南中祭体育の部をはじめ各学年での行事や中部ブロック大会など、いろいろな行事がありました。毎日の学校生活で学習や委員会活動、部活動など友だちや先輩後輩と協力しながら頑張ったこともたくさんあったと思います。積極的にポジティブな言葉をかけ合う場面を幾度となく目にしました。南中生全体として、成長を感じられる1学期だったと思います。

今年度、わたしたち南中の教職員は「自主的に学び、和を大切に協働できる生徒の育成」を教育目標に掲げ、日々の授業や教育活動を行っています。私は、「和を大切に協働できる」ということばが今の南中生にとってとても大切だと思っています。そこには学校生活を通じて身につけるべき本物のコミュニケーションが存在するからです。「和を大切に協働できる」ことを人とのかかわりの中で意識して実践して欲しいです。

夏休みが始まるにあたり、中学生の皆さんを取り巻く環境を安全面から考えてみると、次の3つのことへの対応を意識する必要があります。

1つめは、熱中症、暑さ対策に気をつけること。2つめは、交通事故をはじめ、海や山の事故に十分気をつけること。そして、3つめは携帯電話・スマホに依存することなく、安全で適切な使い方に徹するということです。

先日、携帯安全教室で正しいスマホの使い方、アプリやゲームを使用するとき、気をつけるべきことを学びました。手軽に使えるからこそ、情報モラルを意識して、適切に使用することが必要です。

皆さんには、以上の3点に注意を払いながらも、目標に向かいぶれずに、自分を磨き、毎日を充実させる南中生でいて欲しいと思います。目標が決まっている人はその実現に向け、まだはっきりと定まっていなくても、自分を高めるために何をすべきか、内面を磨くために何をすべきか、それらを考え、行動に移し自分自身を鍛えるひたむきさを持ち続けてください。

今年の夏休みは例年より少し長い44日間です。毎日少しずつでも自分磨きを続ければ、今の自分よりも必ず成長した状態で2学期がスタートできます。

それでは、南中生全員が健康で充実した夏休みを過ごすことを願い、終業式の式辞とします。

令和6年7月19日

徳島市南部中学校長 滝川 尚



